

平成24年第3回定例議会（諸般の報告）

開会にあたり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、印西市長の交代に伴う、印西クリーンセンターの関係について申し上げます。

印西市長に就任しました板倉市長は、8月6日に開催された印西地区環境整備事業組合 構成市町長会議で、千葉ニュータウン9住区への移転・建て替え計画について、白紙撤回を表明されました。

これを受けて、私と岡田栄町長とともに、白紙撤回後の代替案について提示を求めていますので、代替案の提示を受けたうえで、今後の対応を検討することとしているところでございます。

ごみ処理は市民生活を営むうえで大変重要な問題でございます。本市はもとより構成市町のごみ処理が停滞することのないよう、しっかりと対応していく必要があるものと考えております。

次に、事業仕分けについて申し上げます。

8月25日及び26日の二日間にわたり、32事業の事業仕分けを行いました。

判定結果は、「不要」が1事業、「必要性の再検討」が3事業、「国・県・広域で実施すべき」が1事業、「要改善」が20事業、「現行どおり」が7事業となりました。

この結果は、大変厳しいものと受け止めているところでございます。

判定結果を出来る限り尊重し、判定の内容を精査のうえ対応方針を検討し、今後の予算や事業計画に反映してまいりたいと考えております。

なお、この事業仕分けでは、二日間で市民判定人が延べ102人、傍聴をされた方が135人と、大変多くの市民に参加をいただいたことから、施策事業の「見える化」が図られたものと考えているところでございます。

次に、タウンミーティングについて申し上げます。

市民の目線、市民の声が生かせるまちづくりを推進するため、8月4日、5日及び11日に市内6地区におきましてタウンミーティングを開催しました。

参加者は昨年を下回ったものの、100人を超える市民の参加をいただき、市民生活において、日頃、思っていることや困っていることなど、身近な話題について特に対話する機会の少ない市民の皆さんから直接ご意見などを伺いました。いただいた提案や意見は、直ちに実施できるもの、検討を要するものなどを精査しながら、これからの行政施策に生かしてまいりたいと考えております。

次に、タイ王国での梨のPRについて申し上げます。

本市の主たる基幹産業の農業、とりわけ梨の栽培は、県内トップの生産量を誇る主要な農産物でございます。

この度、8月18日から21日までの間、千葉県主催で開催されたタイ王国バンコクでの千葉県物産フェアや千葉の夕べに白井梨業組合の秋本組合長とともに参加し、白井梨のトップセールスを行ってまいりました。

フェアでは様々な千葉の農産物などが紹介されましたが、なかでも「白井の梨」は、物産展のメインとして森田千葉県知事にも積極的な

PRをいただくなど大変な盛況であり好評を博したところでございます。

今後は関係者との関わりを大切にしながら、白井の梨の販路の拡大や、ブランド化に繋げるなど、農業の振興に努めてまいりたいと考えております。

次に、放射線の除染対策の状況について申し上げます。

現在、市では保育園や小・中学校など子どもに関係する公共施設の除染作業を進めているところですが、今後、戸建て住宅などの民有地の除染を行うにあたり、説明会を去る7月29日及び8月4日に市内3会場において開催しましたところ、300人を超える市民の参加があり、関心の高さを感じたところでございます。

8月末日まで除染実施区域内の中学生以下の子どもが居住する住宅の申し込みを受け付けましたところ、戸建て住宅が252件、集合住宅が9件の合計261件、2,413世帯からの申請がございました。

今後は、第一次の受付分については、9月18日から除染を開始するとともに、除染実施区域外の住宅や事業所の除染を受け付けるなど、除染実施計画に基づき適切に対応してまいります。

次に、電気受給契約の変更について申し上げます。

市では、経費の削減を図る目的から公共施設で使用する電気について、特定規模電気事業者、いわゆるPPSから供給を受けることといたしました。

対象施設は、一部施設を除いた市役所をはじめとする20施設でございます。8者の見積り合わせにより5者から見積りの提出があり、一番安価な金額の提示がありました「イーレックス株式会社」と契約をする

ことといたしました。

契約期間は、本年11月1日から平成26年10月30日までの2年間でございます。

この契約の変更により、2年間で約1千200万円の経費が削減できるものと見込んでいるところでございます。